



平成 28 年 6 月 29 日

各 位

株 式 会 社 U B I C
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
東 京 都 港 区 港 南 2 - 1 2 - 2 3
(コード番号：2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル：UBIC)
問 合 せ 先： 執 行 役 員 管 理 本 部 長
谷 口 正 巳
T E L 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

平成 28 年 3 月期決算の過程において、当社の海外連結子会社である EvD, Inc.（以下、当該連結子会社）で会計処理上の誤謬が多数判明し、当社および当該連結子会社の財務経理部門の業務量が増加しました。これにより当社の財務諸表及び連結財務諸表等に必要な書類の作成に遅れが生じたことに加え、監査人より会計処理並びに当社の財務諸表及び連結財務諸表等開示に関する多数の誤りの指摘を受けました。

よって、当社の全社的な内部統制、決算・財務報告プロセスおよび当該連結子会社の全社的な内部統制、決算・財務報告プロセスそして業務プロセスの一部に関する内部統制に、開示すべき重要な不備があると判断いたしました。

2. 事業年度末までには是正できなかった理由

当社は財務報告書作成に必要な人材の確保に努めましたが、これらの時間的制約もあり、当事業年度末日までには是正措置が完了できませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、適切な決算業務遂行の為に、当社および当該連結子会社の財務経理部門の人材強化、また非定型な取引に関する体制強化などの再発防止策を講じていく方針です。

4. 連結財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、決算過程で適正に修正しており、平成 28 年 3 月期の連結財務諸表及び財務諸表に及ぼす影響はありません。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上